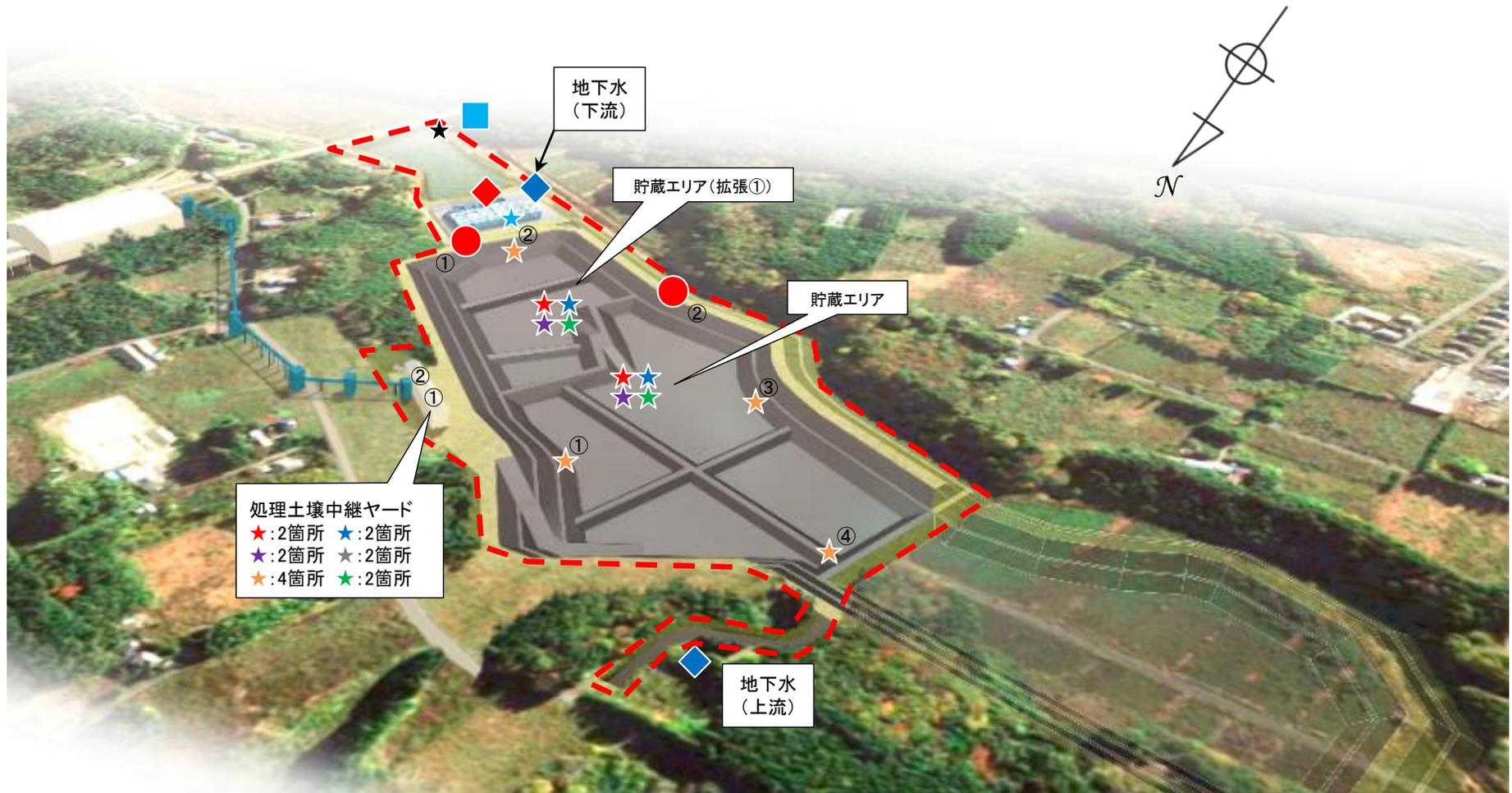


# 土壤貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



処理土壌中継ヤード  
 ★:2箇所   ★:2箇所  
 ★:2箇所   ★:2箇所  
 ★:4箇所   ★:2箇所

## 【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

★ : 施設の位置



# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18 (稼働前)		15	7.9
	2020/3/5 (稼働後)		18	9.6
下流	2018/9/25 (稼働前)		90	130
	2020/3/5 (稼働後)		160	75

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定地点	測定項目		放射能濃度 (Bq/L)
	測定日		
集排水設備①	2020/2/10 (稼働前)		ND
	2020/3/12 (稼働後)		ND
集排水設備②	2018/9/27 (稼働前)		ND
	2020/3/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2020/3/5		7.9	0.9	18

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/3/2 ~2020/3/31	105	0.0	4.3	ND	5154.7

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2020/3/5	

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
	2018/9/18 (稼働前)		ND
2020/3/5 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2020/3/4,24 (稼働後)	
	粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )	
貯蔵エリア	0.2	
貯蔵エリア(拡張①)	0.5	
処理土壌中継ヤード①	0.3	
処理土壌中継ヤード②	0.4	

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/4,16 (稼働後)	
	空間線量率 (μSv/h)	
貯蔵エリア	0.49	
貯蔵エリア(拡張①)	0.31	
処理土壌中継ヤード①	0.19	
処理土壌中継ヤード②	0.19	

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/4,16 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND
貯蔵エリア(拡張①)	ND	ND
処理土壌中継ヤード①	ND	ND
処理土壌中継ヤード②	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/3/4,16 (稼働後)	
		表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
処理土壌中継ヤード	床	①	ND
		②	ND
	壁	①北	ND
		②東	ND
		③南	ND
		④西	ND
	重機	ブルドーザー①	ND
		ブルドーザー②	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND
貯蔵エリア(拡張①)	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2020/2/6	(稼働後)	21	8.3
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2020/2/6	(稼働後)	160	66

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2020/2/27	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/6		7.6	1.1	16	8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2020/2/1 ~2020/2/29	110	0.0	3.6	ND	4583.2

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/2/6		19

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2020/2/6	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2020/2/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.3

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.32

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/5 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
	脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.70 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18 (稼働前)		15	7.9
	2020/1/9 (稼働後)		18	5.8
下流	2018/9/25 (稼働前)		90	130
	2020/1/9 (稼働後)		120	100

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 (稼働前)		ND
2020/1/9 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	2020/1/9		7.6	1.2	20

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/1/6 ~2020/1/31	103	0.0	4.9	ND	2837.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/1/9		21

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18 (稼働前)		ND	1.2
2020/1/9 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2020/1/8 (稼働後)	粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア		0.1

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/8 (稼働後)	空間線量率 (µSv/h)
貯蔵エリア		0.26

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/8 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $1.0 \times 10^{-7}$  Bq/cm³, セシウム137:  $1.0 \times 10^{-7}$  Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/8 (稼働後)	表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①北		ND
	②東		ND
	③南		ND
	④西		ND
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/12/5	(稼働後)	22	6.8
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/12/5	(稼働後)	170	26

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/12/25	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/5		7.6	ND	16	9

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/12/2 ~2019/12/26	89	0.0	4.5	ND	2911.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/12/5		6

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/12/5	(稼働後)	ND	1.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/12/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.3

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.38

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/4 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/12/4 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	脱水プラント	ND
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/11/7	(稼働後)	22	8.4
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/11/7	(稼働後)	190	54

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/11/14	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/11/7		7.7	0.5	13	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/11/1 ~2019/11/30	118	0.0	3.7	ND	3836.2

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/11/7		23

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/11/7	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/11/6 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.3

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/6 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.26

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/6 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/11/6 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	脱水プラント	ND
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18 (稼働前)		15	7.9
	2019/10/3 (稼働後)		15	6.1
下流	2018/9/25 (稼働前)		90	130
	2019/10/3 (稼働後)		180	81

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 (稼働前)		ND
2019/10/15 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/10/3		8.1	0.9	12

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/10/1 ~2019/10/31	348	0.0	4.5	ND	14026.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/10/3		8

SS基準: 1mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18 (稼働前)		ND	1.2
2019/10/3 (稼働後)		ND	1.0

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/10/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	2.7

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/2 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.33

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/2 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/10/2 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/9/5	(稼働後)	14	6.7
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/9/5	(稼働後)	110	170

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/9/19	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/9/5		7.6	1.5	19	13

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/9/2 ~2019/9/30	382	0.0	3.2	ND	5163.5

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/9/5		2

SS基準: 1mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/9/5	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/9/4 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.5

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/4 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.30

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/4 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	Cs-137 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/9/4 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/8/1	(稼働後)	17	8
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/8/1	(稼働後)	290	30

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/8/1	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/8/1		7.5	ND	7.8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/8/1 ~2019/8/30	247	0.0	3.8	ND	2802.2

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/8/1		2

SS基準: 1mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/8/1	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	0.2

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/1 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.64

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/8/1 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	脱水プラント	ND
	重機	
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/7/4	(稼働後)	14	5.6
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/7/4	(稼働後)	270	87

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/7/17	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/7/4		7.3	ND	6.7	3

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/7/1 ~2019/7/31	464	0.0	4.0	ND	12056.1

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/7/8		8

SS基準: 1mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/7/4	(稼働後)	ND	1.4

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	1.4

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.43

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 1.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/7/3 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
浸出水処理施設	設備	調整槽	ND
		濁水処理設備	ND
		脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/6/6	(稼働後)	12	10
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/6/6	(稼働後)	110	160

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/6/26	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/6/6		7.4	ND	6.3	2

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

生物化学的酸素要求量(BOD)のNDとは、報告下限値(0.5mg/L)未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/6/3 ~2019/6/30	262	0.0	4.7	ND	6736.1

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2019/6/6		5

SS基準: 60mg/L

浮遊物質(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/6/6	(稼働後)	ND	1.1

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2019/6/5 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
貯蔵エリア		ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.38

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³, セシウム137:  $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3}$ ≤1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/6/5 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	
	調整槽	ND
	濁水処理設備	ND
貯蔵エリア	重機	
	ブルドーザー	ND
	バックホウ	ND
	タイヤローラー	ND
	振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/5/9	(稼働後)	13	11
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/5/9	(稼働後)	160	130

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/5/23	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2019/5/9		7.3	1	6.9

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/5/7 ~2019/5/31	150	0.0	2.9	ND	3928.4

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2019/5/23		14

SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)の報告下限値: 1mg/L

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/5/9	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	1.4

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.44

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137: 5.0 × 10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10<sup>-3</sup> + セシウム137の濃度/3 × 10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/5/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽
		濁水処理設備
		脱水プラント
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー
		バックホウ
		タイヤローラー
		振動ローラー

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設(第2期大熊③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

## ◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2018/9/18	(稼働前)	15	7.9
	2019/4/4	(稼働後)	13	11
下流	2018/9/25	(稼働前)	90	130
	2019/4/4	(稼働後)	88	160

## ●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27	(稼働前)	ND
2019/4/24	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質量
		(pH)	(BOD) (mg/L)	(COD) (mg/L)	(SS) (mg/L)
2019/4/4		7.7	0.5	7.1	8

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/4/2 ~2019/4/27	57	0.0	1.6	ND	1463

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18	(稼働前)	ND	1.2
2019/4/4	(稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/4/3 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	1.5

定量下限値: 0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m<sup>3</sup>

## ★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/3 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
貯蔵エリア	0.46

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>, セシウム137: 5.0 ×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度: セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度(★貯蔵施設境界、★設備、★重機)

測定地点		2019/4/3 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )	
貯蔵施設境界	①北	ND	
	②東	ND	
	③南	ND	
	④西	ND	
浸出水処理施設	設備		
	調整槽	ND	
	濁水処理設備	ND	
	脱水プラント	ND	
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		タイヤローラー	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 1.00 Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm<sup>2</sup>